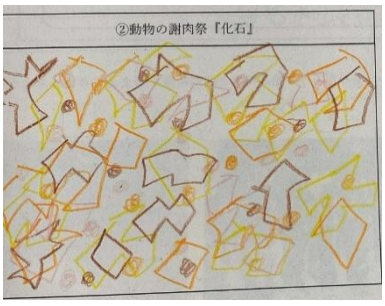教科	美術科
7学年　単元名『響き合う形と色』 授業実践・授業研修	
日時	５月14日(水)3・4校時
授業者	角 彩乃
本時のねらい	「動物の謝肉祭『ピアニスト』『化石』『白鳥』を聴いて、メロディーや曲調、テンポなどから形や色、構成などを創造し、他者の描く線などを参考にしながら、試行錯誤して抽象画を描くことができる。
キーワード	抽象画・音楽・カンディンスキー・色鉛筆・即興
授業の実際 （本時の子供の姿）	(1) 教師が音楽を基に描いた3つの抽象画を鑑賞し、どの音楽を聴きながら描いたものか考える。 (2) 本時の学習課題を設定する。 「『動物の謝肉祭『ピアニスト』『化石』『白鳥』を聴いて、それを表現できる形や色を見つけよう。』」 (3) 抽象画に表す前に、音楽の特徴を書き出す。 (4) 実際に音楽を聴きながら抽象画を描く。 (5) 本時の学習をまとめ、振り返りを記入する。
事後協議の概要	聴いた音楽を基に、多く生徒が抽象画を描くことができた。旋律に合わせて線を上下させたり、音楽の雰囲気から物語を想像して色や形を描いたりする姿が見られた。しかし、指導者の想像とは異なり、曲調だけでなく音楽の題名も抽象画を描くことに影響を与えたこと、加えて抽象画を３枚描くという作業量の多さなど、検討しなければならない課題も挙げられる。また、表現する際に色・形・構成など、考える要素が多いため、色は3色までにするなど、表現の幅をあえて狭めることも有効な手立てになるのではないかと考えられる。